

経済・政策・法律



キーワード：中小企業、地域社会、人材

中小企業と地域社会に関する研究

経営学部 経営学科 准教授

木下 和紗 KINOSHITA Kazusa

研究の内容

研究テーマは、中小企業と地域社会である。大企業と比較して経営資源に諸制約を有するにもかかわらず、「なぜ、中小企業は地域社会への貢献に取り組むのか？」というのが研究上の大きな問いである。そもそもとして「地域社会への貢献とはなにか？何をもって貢献といえるのか？」も含め、上述の問いに答えるべく、主としてインタビュー調査を通じて研究を進めている。

研究を進めるプロセスでは、地域の中小企業と教育機関や、中小企業ネットワーク（経営者団体）と教育機関による産学連携の中でも、人材確保・育成にかかわるインターンシップをはじめとする各種プロジェクトを研究対象としてきている。中小企業の人材確保については、「短期的な人材確保＝直近の採用」に焦点が当てられがちである。ただし、中小企業が採用を実現するためには、個々の企業の認知度向上もそうだが、地域の中小企業やそこでの仕事に対する理解が深めるための土壌づくり（投資）が重要との認識のもと、主には「中長期的な人材確保＝将来の採用」に向けた産学連携プロジェクトを対象に調査研究を実施している。

産学連携・社会連携へのアピールポイント

中小企業の人材確保・育成・定着を考えるうえでは、若者の中小企業に対する理解・認識を深める必要があるとの問題意識から、弊ゼミでは中小企業（の経営者や従業員の方々）との交流や合同ゼミのほか、学生ら自らが関心のある中小企業にアポイントを取り、訪問をするというゼミ活動も実施している。学生にとっても、企業・社会にとってもプラスとなるような連携のあり方を探りたいと考えている。

研究者総覧（木下 和紗）

URL : https://gyoseki.setsunan.ac.jp/html/200000561_ja.html

